

霜月たより



秋も深まるこの季節 皆さまいかがお過ごしでしょうか？ 秋といえばの一つ【芸術の秋】
 そもそもどうして秋なのでしょう。もともとはある雑誌で「美術の秋」との記事が掲載されたこと
 が所以の一つのようです。さらには大規模展覧会など開催されることが多いのが「秋」ということ
 で、その流れになったと言われています。

「芸術」と言っても色々ありますが、今日は【絵画】について少しお話いたします。在宅の利用
 者さんでも、絵を描いておられる方結構いらっしゃいます。私自身は趣味の域ですが、近頃【絵画鑑
 賞】について学んでいます。きっかけは、もともと趣味の【絵】が認知症当事者の方に与える影響を
 知りたかったことと、引きこもりがちになっている高齢者が増える中で、日常に「楽しい」感情が残
 る時間を作りたいと思ったことでした。

学ぶ中で絵画は**見る人によって見え方や解釈が変わり、正解がない**ということを知り、何も
 知らなくても大丈夫」が安心感に変わり、今どっぴりはまっています。絵画を見ると、**自分と人の見
 え方の違い**に新たに気づかされます。そして人の見え方を聞いて「なるほど」と思うと急にその見え
 方にしかできなくなったりします(笑)。

絵画の見方としては基本自由ですが、全体に何が描かれているか見て・想像したりしながら解釈し
 ていく、そして、知識や経験と結び付け回想しながら鑑賞します。一人ではなく誰かと一緒に絵画
 を見ながら自由に発言して共有することが新しい発見の連続で、情動を刺激することにつながりま
 す。ちなみに、人の脳は情動に関する部位を刺激することで成長し、感情にする部位は最後まで残る
 と言われています。そのようなことを考えながら絵画を見ることで【新たな発見】や【楽しい】など
 感情が刺激されます。また観察力がつくことも研究で明らかになっているので、例えば毎日同じ場所
 や散歩をしていても、ちょっとした変化に気づくことができるようになりますね。そうすることで人
 生が豊かに色づいたもの変わっていくのではないのでしょうか。

これらは正確には「**対話型アートプログラム**」といいます。すでに何人か一緒にアート鑑賞さ
 せていただいた方もいます。内容は覚えていなくても大丈夫。「その瞬間一緒にアートを楽しむ」こ
 れこそ目的の一つです。今度また、皆さまがどのような反応をされたのか等、お話させていただきた
 いと思います。これもちなみに・・・ですが、子供対象にも実践できます。

子供は知識
 大人も子供
 や経験が少ない分、大人では考えないような発言が飛び出すのもまた面白く感じます。
 も誰でも日常に潤いのある時間を、一緒に楽しませていただければ幸いです。

「じんなごなりますの巻

10月31日ハロウィン
 ヨーロッパ発症のお祭り。
 「トリック・オア・トリート
 (いたずらか、おもてなし
 か)」と言い、家を回ってお
 祈りしおもてなしを受ける慣
 習。子供たちが魔物の仮装を
 して家を周り「もてなさない
 と魔物のようにいたずらする
 ぞ」という意味。

ひと昔前・・・自分たちの小
 さい頃はこんな慣習なかつた
 です。(北海道だけでしょう
 か？笑)これと言ってお祝い
 はしないのですが、折角なの
 で、頂いた冬瓜をくり抜き
冬瓜お化けを作りました。
 なかなかの出来に満足し飾っ
 ておいた数日・・・
 姿かたちが変わりすぎて叫ん
 だこの頃・・・

